

『親子で学ぶ農林水産業見学体験ツアー in 檜葉』を開催しました。

令和4年10月23日（日）に、相双管内の小学生とその保護者を対象とした日帰りバスツアーを開催し、17組37名の親子に参加いただきました。本ツアーは、生産者との交流や収穫体験などを通して、双葉地方の農林水産物に対する安心を深めてもらうとともに、農林水産業の再開状況や取組状況を理解してもらうことを目的に実施しているものです。

参加者は初めに檜葉町カントリーエレベーター及び自動ラック式農業用低温倉庫を見学し、カントリーエレベーターの仕組み、管理方法、放射性物質検査方法についてJA職員から説明を受けました。参加者はカントリーエレベーター設備の大きさなどに驚いた様子で、カメラを向けて記録におさめていました。

次に木戸川漁業協同組合のやな場、サケふ化場を見学しました。木戸川漁協組合員から震災時の被災状況、サケ漁の再開、近年のサケ捕獲量の現状及び人工ふ化による稚魚の育成について説明を受けました。また当日は合わせ網漁の実演が行われ、近年不漁が続いている中でも3匹のサケが捕れたことに参加者から歓喜の声が上がりました。

お昼には、天神岬スポーツ公園のレストランで県産農林水産物を取り入れた昼食を召し上がっていただき、県産農林水産物の美味しさを実感していただきました。その後、天神岬スポーツ公園内の海岸防災林（檜葉地区）を眺望できる場所にて、海岸防災林の役割や震災後の復旧方法等について当所から説明しました。

最後に檜葉町内のサツマイモ畑を訪問し、地元農家の方から栽培の取組や収穫方法の説明を受けた後、サツマイモの収穫を体験しました。サツマイモの掘り出しに苦戦しながらも、参加者は笑みを浮かべ、楽しそうに収穫していました。

参加者からは「大人も子供も楽しめるツアーだった。」、「生産者さんを応援したいと思った。」という声が寄せられました。

バスツアーは相馬地方においても冬季に開催予定です。

檜葉町カントリーエレベーターにおける放射性物質検査の体験



木戸川漁業協同組合員による合わせ網漁の実演



海岸防災林（檜葉地区）の見学



檜葉町内のサツマイモ畑での収穫体験

